

赤ちゃん医学から生まれた

Aprica

アップリカのチャイルド&ジュニアシート ムービングサポート

取扱説明書／保証書

体重**9kg以上36kg以下**のお子さま用です。
自動車の進行方向に対して**前向き**の**3点式シートベルト**
装着の座席のみ使用できます。



このたびは、アップリカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前に、本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
取扱説明書に記載されている以外の方法で使用しないでください。
また、お読みになった後は、本書を大切に保管してください。

ご使用
前に

ご使用上
の注意

組み立て
方法

各部の
操作方法

インパクト
シールド
での使用時

ハイバック
での使用時

座部での
使用時

お手入れ
方法

保証に
ついて

もくじ

ご使用前に 3

ご使用前の確認	3
各部の名称	3
チャイルドシートについて	5
保護者の方へのアドバイス	5
本書の表示について	5
使用条件	6
座席の条件／座席の位置及び装備	7
座席の条件／座席の形状	8
シートベルトの条件／シートベルトの種類	9
シートベルトの条件／シートベルトの位置	10

ご使用上の注意 11

危険	11
警告	12
注意	13
禁止	14
緊急時のお子さまの降ろし方	14
ラベルについて	15
ラベル類の貼付位置	15

組み立て方法 16

背もたれの取り付け方	16
------------	----

各部の操作方法 17

背もたれの高さ調節	17
ヘッドサポートの調節	17
ショルダーサポートの調節	18
インパクトシールドの保管	18

インパクトシールドでの使用時 19

本体の取り付け方	19
取り付け後の確認	22

ハイバックでの使用時 23

本体の取り付け方	23
取り付け後の調節方法	25
取り付け後の確認	26

座部での使用時 27

背もたれの取り外し方	27
本体の取り付け方	27
取り付け後の調節方法	29
取り付け後の確認	30

お手入れ方法 31

シートカバーの外し方	31
シートカバーの洗濯	33
樹脂部分のお手入れ	33
保管する時は	33
廃棄する時は	33

保証について 34

保証期間とアフターサービス	34
アフターサービスについての連絡先	34
製品の仕様	34

保証書	裏表紙
-----	-----

ご使用前に

ご使用前の確認

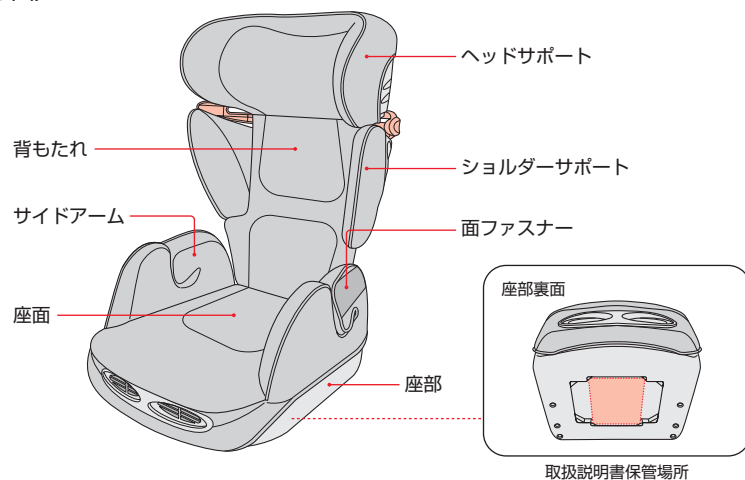
- ・製品を箱から取り出した後に、部品が揃っているか、破損などがないかを確認してください。
- ・欠品や破損など、ご確認された場合は使用を中止し、お買い上げの販売店または当社サービス係までご連絡ください。
- ・本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどを分かり易くするため、現物とは若干異なる場合があります。

〈重 要〉

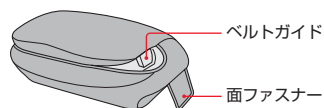
・お客様登録カードは、当社よりリコールや自主回収などチャイルドシートに係わる重要な情報を連絡する際に必要となります。お買い上げ日、またはお子さまが生まれた日より1カ月以内に投函してください。

各部の名称

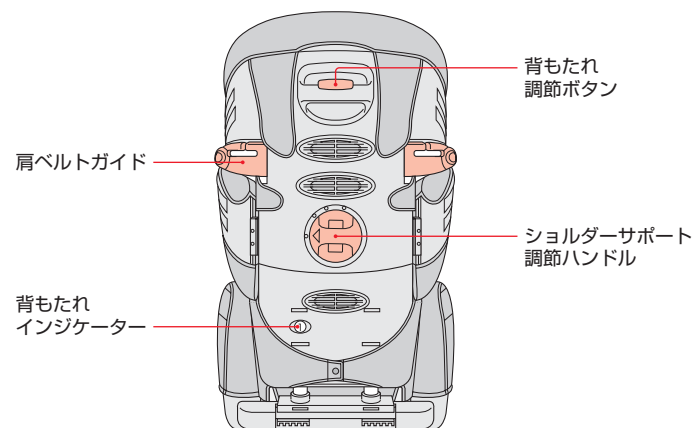
〈正面〉



〈インパクトシールド〉



〈背面〉



〈付属品〉



チャイルドシートについて





- ・チャイルドシートは、お子さまの安全を守るための機能を備えております。これらの機能は自動車事故などの際に、お子さまの傷害を軽減します。ただし、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。
- ・本品は日本国内においてのみ、ご使用いただけます。

保護者の方へのアドバイス

- ・お子さまを車に乗せる時は、チャイルドシートの使用を習慣にしてください。
- ・長時間のドライブでは、定期的に休憩を取って、お子さまの気分転換をはかってください。



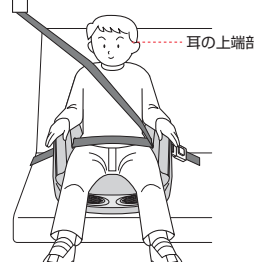
本書の表示について

- ・「**危険**」、「**警告**」、「**注意**」、「**禁止**」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したものです。大変重要な内容ですので、必ずお守りください。

表 示	表示の内容
 危険	誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。
 警告	誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
 注意	誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定されます。
 禁止	製品の取扱いの禁止の行為です。絶対してはいけません。

使用条件

- ・下記の条件を満たさないお子さまには絶対使用しないでください。
この条件を満たさないお子さまには事故時の傷害を軽減する効果がありません。
- ・お子さまの成長に合わせて、3通りの使い方があります。

インパクトシールド使用時	体 重…9kg以上18kg以下
	<ul style="list-style-type: none"> ・参考身長…75cm以上100cm以下 ・腰が安定し、一人座りができること。
ハイバックでの使用時	体 重…15kg以上25kg以下
	<ul style="list-style-type: none"> ・参考身長…95cm以上120cm以下 ・腰が安定し、一人座りができること。 ・チャイルドシートに座った時、車のシートベルトのタングが、バックルに差し込めること。 ・チャイルドシートに座った時、頭部重心位置（耳の上端部）がチャイルドシートの背もたれの上端部より下になること。
座部での使用時	体 重…15kg以上36kg以下
	<ul style="list-style-type: none"> ・参考身長…100cm以上145cm以下 ・腰が安定し、一人座りができること。 ・チャイルドシートに座った時、車のシートベルトのタングが、バックルに差し込めること。 ・チャイルドシートに座った時、頭部重心位置（耳の上端部）が車のシートの上端部、又はヘッドレストの上端部より下になること。

座席の条件／座席の位置及び装備

〈お奨めする取り付け座席の位置〉

- ・お子さまの安全性を高めるために、運転席より後ろの列の座席に取り付けることをお奨めします。

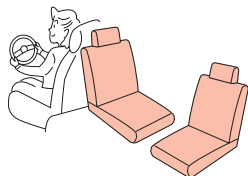
〈(やむを得ず)フロントエアバッグが装備された座席に取り付ける場合の注意〉

- ・(やむを得ず)取り付ける場合は、エアバッグの作動によるケガを防ぐため、座席をいちばん後ろまで移動させてください。

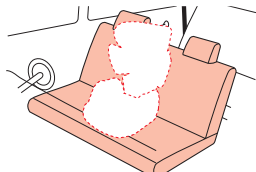
〈サイドエアバッグが装備された座席に取り付ける場合の注意〉

- ・車の取扱説明書に従って取り付けてください。
- ・自動車メーカーのお客さま相談窓口にお問い合わせください。

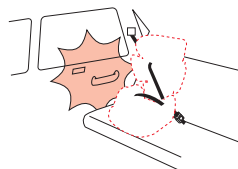
〈取り付けできない座席〉



- ・車の進行方向に対して横向き及び後ろ向きの座席。



- ・前列の中央座席。(前列ベンチ座席仕様車)



- ・座席以外のピラーやドアなどの車両構造物に本品が接触して、正しく取り付けできない座席。

座席の条件／座席の形状

〈取り付けできない座席〉



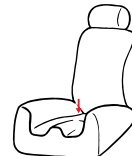
- ・奥行きが **40cm 未満** の座席。
(補助座席、幼児専用座席)



- ・座席のフラット面が狭く **40cm 未満** の座席。
(市販座席に取り替えられた車両、スポーツ車、レース車、補助座席、幼児専用座席など)



- ・臀部をホールドするため凹形にくぼんだ座席で、バックル位置が座面より **15cm 以上** 高くなる座席。
(チャイルドシートが落ち込むため安定しません。)




- ・大腿部、臀部をホールドするため凹形にくぼんだ座席で、チャイルドシートが安定しない座席。
(市販座席に取り替えられた車両、スポーツ車、レース車など)

シートベルトの条件／シートベルトの種類


・必ず **3 点式シートベルト** が取り付けられていること。

シートベルトの種類	特 徴	取り付け上の注意点
ELR (緊急ロック式巻取装置) 付シートベルト	通常はシートベルトが肩側の取り付け部から自由に出し入れでき、急ブレーキや衝突などの時だけロックされる。	シートベルトをゆるやかに引き出し使用すること。
A-ELR (チャイルドシート固定機構) 付シートベルト	ベルトをすべて引き出すと、入る方向にしか動かない機構のELR付き。	シートベルトをすべてもどすと、チャイルドシート固定機構が解除されます。
ALR (自動ロック式巻取装置) 付シートベルト	ベルトを引き出す途中で手を止めると、シートベルトロックが解除されます。	シートベルトをすべてもどすと、シートベルトロックが解除されます。
NLR (非ロック式巻取装置) 付シートベルト	ベルトをすべて引き出してから長さを調節する。	シートベルトをすべて引き出した状態から、長さを調節して使用すること。
手動調節式 シートベルト	巻取装置が付いていない。	長さを調節して使用すること。


〈取り付けできないシートベルト〉




・ 2 点式シートベルトの座席。



・ シートベルトの取り付け部が上下共巻き取り式の座席。



・ パッシブシートベルトの座席。(座席に座ってドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される座席)



・ 市販のスポーツタイプシートベルトが装備されている座席。

シートベルトの条件／シートベルトの位置

〈取り付けできない3点式シートベルト〉



・ 車のシートベルトの取り付け幅が、**40cm 未満**の座席。



・ バックル側のベルトが樹脂製などで固く、バックル位置が高い座席。(RV 車に多い)

・ 座面より **15cm 以上**高いと、チャイルドシートのベルト固定ガイドに干渉し、チャイルドシートが固定できません。



・ シートベルトの取り付け位置が高い座席。座面より **15cm 以上**の座席。(2 ドア車に多い)



・ 車のシートベルトのバックル、及び腰シートベルトの取り付け位置が前方によっている座席。

・ 背もたれより **10cm 以上**前方で、シートリクライニング機構のない座席。



・ プリテンショナー付シートベルトは、強い衝撃を前面から受けた時にシートベルトを引き込みます。ベルトが引き込まれた後は、チャイルドシートを取り付けしないでください。

ご使用上の注意

危険

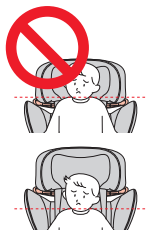
- ・誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。



肩シートベルトをインパクトシールドのベルトガイドに通さないで使用しない。



肩シートベルトを背もたれのベルトガイドに通さないで使用しない。

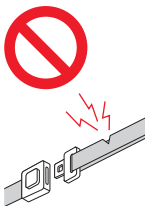


肩ベルトガイドがお子さまの肩よりも低い位置及び、3cm 以上高い位置で使用しない。

- ・チャイルドシートを本書の説明以外の方法で取り付けない。
- ・使用条件に適合しないお子さまや、座席では使用しない。
- ・本品は必ず車のシートベルトを正しく使用してお子さまを乗せてください。
- ・お子さまが立ったり、中腰、正座をした状態では使用しない。



チャイルドシートが確実に固定できない座席では使用しない。



シートベルトに破傷がある座席には取り付けない。

警告

- ・誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



二人以上で使用しない。



肩シートベルト、腰シートベルトがねじれたり、ゆるんだ状態では使用しない。



腰シートベルトは骨盤上以外で着用しない。

- ・チャイルドシート使用時は、お子さまを一人で車内に残さない。
- ・肩シートベルトを、お子さまの首や腹部など体の弱い部分に掛けて使用しない。
- ・車の走行中にチャイルドシートの操作やベルト調節などを行わない。
- ・インパクトシールドのみ、背もたれのみで使用しない。
- ・インパクトシールドや、背もたれを使用しない場合は、トランクなどに収納してください。
- ・本品を直射日光にさらさない。
金属部品などが熱くなり、やけどのおそれがあります。



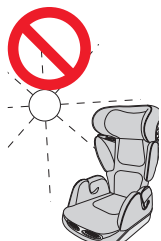
緊急時の脱出の妨げになる座席にはチャイルドシートを取り付けない。



チャイルドシートの底面の一部分にクッション、座布団などを敷かない。

⚠ 注 意

- ・誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。



チャイルドシートを直射日光にさらさない。
金属部品などが熱くなり、やけどのおそれがあります。



チャイルドシートを車の可動式シートやドアに挟まない。



固定されていない物を車内に置かない。

- ・本体の洗浄にはシンナーなどの溶剤を使用しない。
- ・車の座席が革仕様の場合には、直接取り付けずに、保護マットなどを使用する。
- ・火などの近くに放置したり、長時間屋外に放置しない。
- ・シートベルトで固定せずに、通常の椅子として使用しない。
- ・小さなお子さまにチャイルドシートの取り付けや、操作をさせない。
- ・チャイルドシートに重量物を載せない。



チャイルドシートがシフトレバーやパーキングブレーキなどの操作に支障をきたす座席には取り付けない。



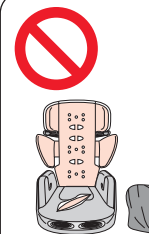
シートベルトで固定していないチャイルドシートを車内に置かない。

🚫 禁 止

- ・製品の取り扱いの禁止の行為です。絶対してはいけない内容です。



本品を分解、改造、指定部品以外の交換はしない。

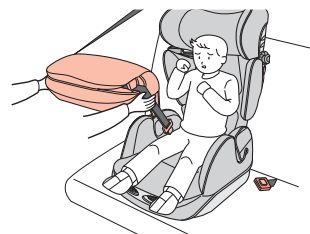


シートカバーやクッション材を他のものと交換したり、外した状態や破れた状態で使用しない。

- ・事故や落下、放り投げなどによる強い衝撃が加わった後は使用しない。
- ・お子さまの遊び道具として使用させない。
- ・保護者、介添者などが椅子など腰掛けとして使用しない。
- ・直射日光が当たったり雨がかかる場所及び、高温や多湿の場所に保管しない。

- ・ご使用中及び点検で異常を発見した場合は、そのまま使用せず当社サービス係までご連絡ください。(P34 参照)

緊急時のお子さまの降ろし方



緊急の時はあわてずに…

- ①車のシートベルトのバックルを外す。
- ②インパクトシールドを外す。
- ③お子さまをチャイルドシートから降ろす。
- ④安全な場所へ避難する。



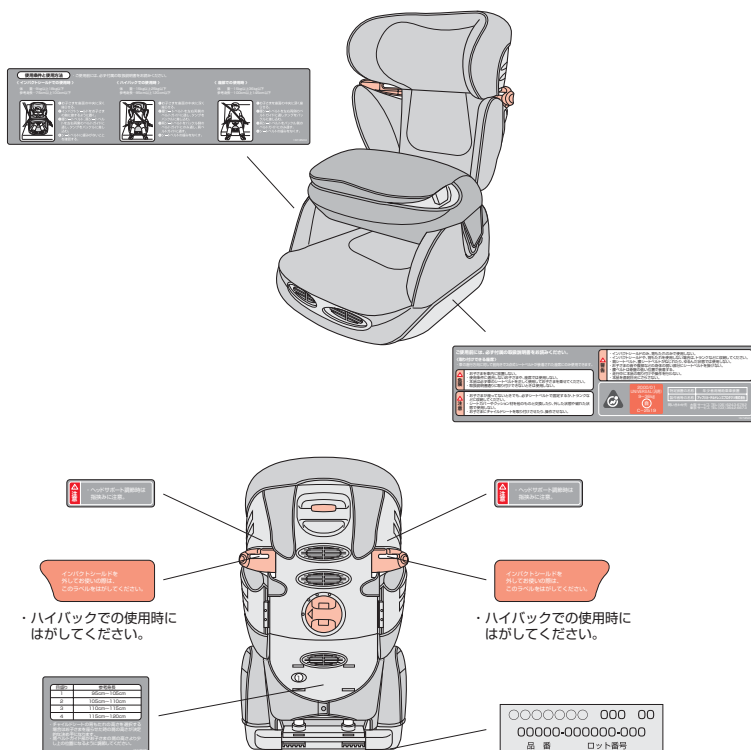
バックルからタンクが抜けられない時は…

- 車のシートベルトをシートベルトカッター（市販品）などで切り、インパクトシールドを外し、お子さまを降ろす。

ラベルについて

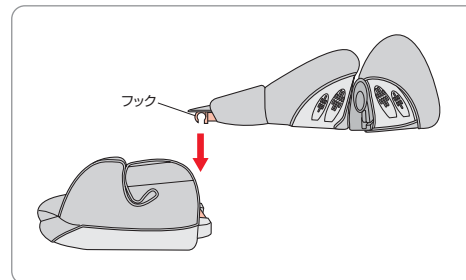
- ・製品には、使用上の注意を記載したラベルを貼付しています。ラベルをお読みいただき内容を必ず守ってください。
- ・ラベル類は汚したり、はがしたりしないでください。
- ・ラベル類が読めなくなった場合は、製品名、品番をご確認の上、お買い上げの販売店または当社サービス係までご連絡ください。

ラベル類の貼付位置

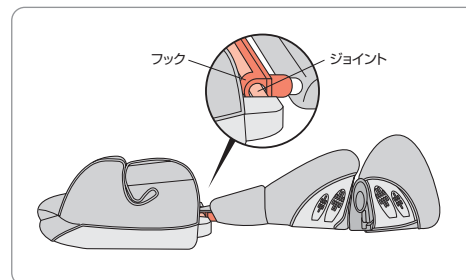


組み立て方法

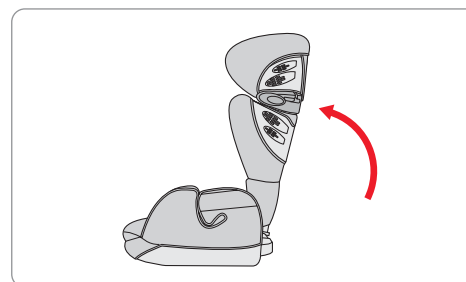
背もたれの取り付け方



- 1 背もたれを水平に寝かせ、フックを座部のジョイントに合わせます。



- 2 背もたれのフックを座部のジョイントに掛けます。



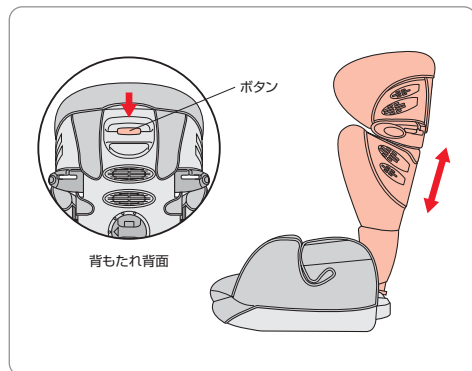
- 3 背もたれを起こします。



- ・組み立てる時に、指などを挟まないように注意してください。
- ・背もたれが確実に取り付けられていることを確認してください。
- ・組み立てたチャイルドシートを運ぶ時は、座面から背もたれが外れないように注意してください。

各部の操作方法

背もたれの高さ調節

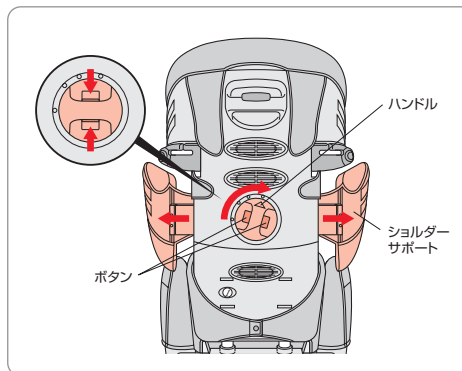


背もたれ調節ボタンを押した状態で背もたれを上下させボタンを戻します。



・背もたれを上下にゆすりロックされていることを確認してください。

ショルダーサポートの調節

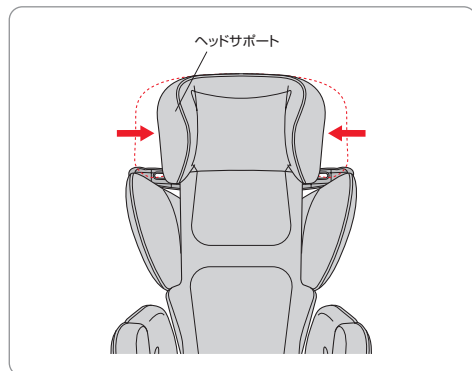


ハンドルのボタンを押した状態で、ハンドルを回してショルダーサポートを調節し、ボタンを戻します。



・ボタンが戻りショルダーサポートがロックされていることを確認してください。

ヘッドサポートの調節

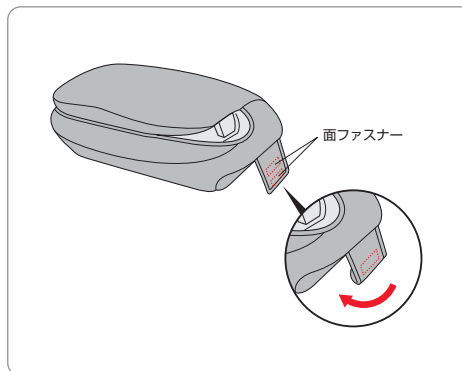


ヘッドサポートを内側に倒します。



・ヘッドサポート調節時は本体などで手、指などを挟まないように注意してください。
手、指などを挟み、けがをするおそれがあります。
・お子さまを乗せる前に背もたれが確実に取り付けられていることを確認してください。

インパクトシールドの保管



インパクトシールドを使用しない時は、左右の面ファスナーを内側に折りたたんで保管します。

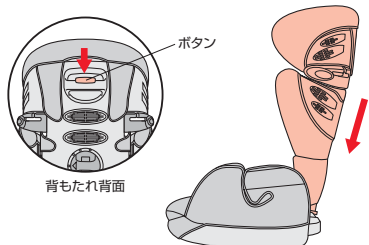


・面ファスナーをとめずにそのままにしておくと面ファスナーにより他の生地をキズつけるおそれがありますので注意してください。

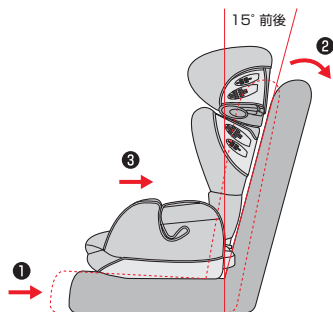
インパクトシールドでの使用時

体重：9kg 以上 18kg 以下（参考身長：75cm 以上 100cm 以下）

本体の取り付け方



- 1 背もたれ調節ボタンを押して、背もたれを一番低い位置に調節します。



- 2 ①車の座席が前後にスライドする場合は、一番後ろに下げます。
②リクライニング付きの場合は 15° 前後倒します。
③チャイルドシートの背もたれと、車の座席の背もたれのスキ間出来るだけ小さくなるようにチャイルドシートを置きます。

警告



・車の背もたれを極端に倒した状態で使用しない。

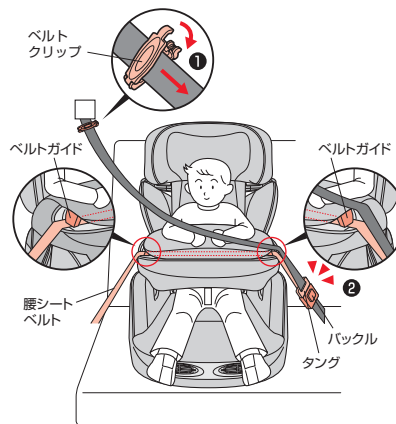
衝突や急ブレーキなどにより保護機能を発揮できず危険になるおそれがあります。



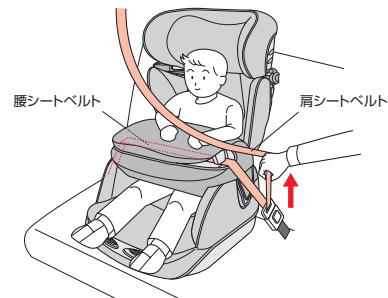
- 3 お子さまを座面に深く座させます。



- 4 インパクトシールドのベルト通し部を前向きにして、お子さまの胸に接するように置き、左右の面ファスナーをとめます。



- 5 ①シートベルトを全て引き出し、ベルトクリップで仮止めします。
②車の腰シートベルトにねじれないことを確認して、インパクトシールドの両側のベルトガイドに通し、タンクをバックルに差し込みます。



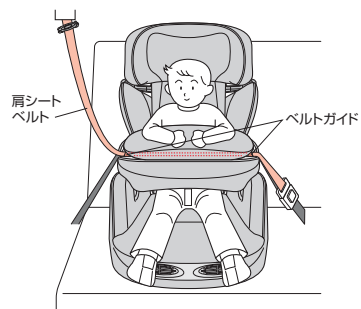
6

車の肩シートベルトを引き上げ、腰シートベルトのたるみをとります。

- ・シートベルトのタングストッパーがインパクトシールドのベルトガイドに当たらないように注意してください。当たる場合はタングストッパーをベルトガイドの内側にしてください。

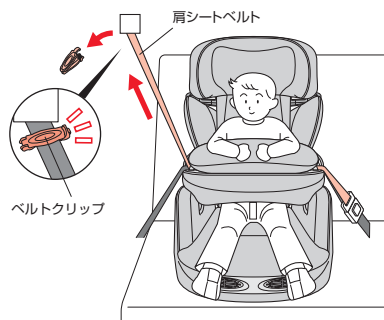


・インパクトシールド使用時は背もたれの肩ベルトガイドは使用しない。



7

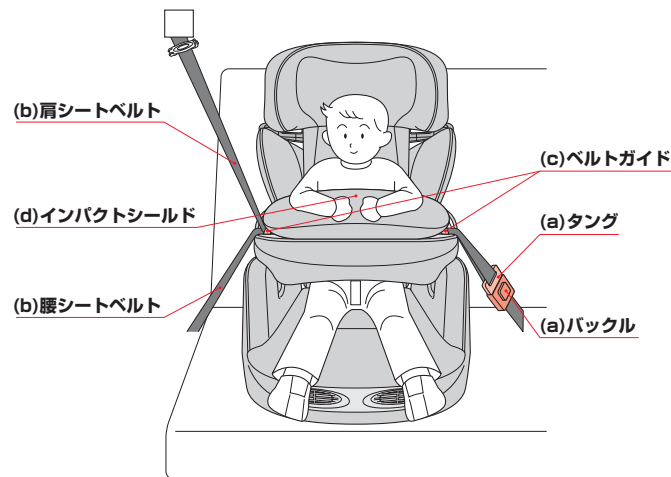
肩シートベルトをインパクトシールドの左右のベルトガイドに通します。



8

ベルトクリップを外し、余分な肩シートベルトを巻き取り、再度ベルトクリップを取り付けます。

取り付け後の確認



・取り付け完了後、しっかり固定されているか、次の項目を確認してください。

☑ チェック項目

- (a) 車のシートベルトのタングがバックルに差し込まれていること。
- (b) 車の肩・腰シートベルトに緩み、たるみ、ねじれないこと。
- (c) 車のシートベルトが左右のベルトガイドを確実に通っていること。
- (d) お子さまの胸とインパクトシールドが接していること。

・(a)～(d)を確認し、しっかり固定できていない場合は、もう一度1～8の手順で取り付けをやり直してください。

・1～8の手順でやり直しても、しっかり固定できない場合は、当社サービス係までご連絡ください。(P34 参照)



・チャイルドロック付きシートベルト（A-ELR）のうち比較的小さい物の場合、取り付けが完了する前にチャイルドロック機構が働き、ベルトが巻き取られることにより取り付けが出来なくなる場合があります。

＜対処方法＞

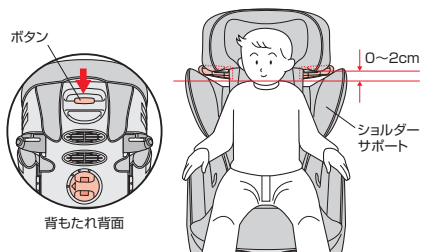
・シートベルトを全て引き出し、シートベルトが巻き込まれないように付属のベルトクリップで保持した後に取り付け作業を行ってください。

ハイバックでの使用時

体重：15kg 以上 25kg 以下（参考身長：95cm 以上 120cm 以下）

- ・取り外したインパクトシールドは大切に保管してください。（P18 参照）
- ・肩ベルトガイドのラベルをはがしてください。（P15 参照）

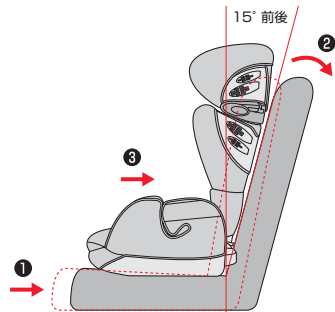
本体の取り付け方



1

背もたれ調節ボタンを押して、肩ベルトガイドの高さをお子さんの肩から 2cm 以内に背もたれを調節します。

- ・お子さんの体格に合わせてショルダーサポートを調節してください。（P18 参照）



2

①車の座席が前後にスライドする場合は、一番後ろに下げます。

②リクライニング付きの場合は 15° 前後倒します。

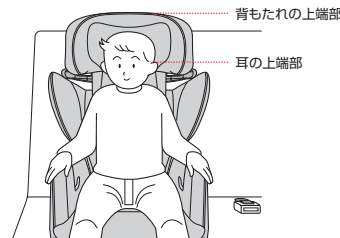
③チャイルドシートの背もたれと、車の座席の背もたれのスキ間が出来るだけ小さくなるようにチャイルドシートを置きます。

警告



- ・車の背もたれを極端に倒した状態で使用しない。

衝突や急ブレーキなどにより保護機能を発揮できず危険になるおそれがあります。

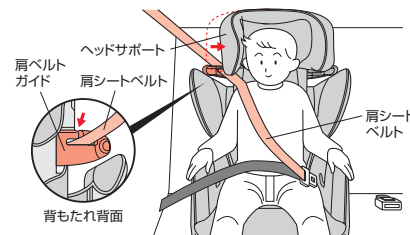


3

お子さんを座面に深く座させます。

注意

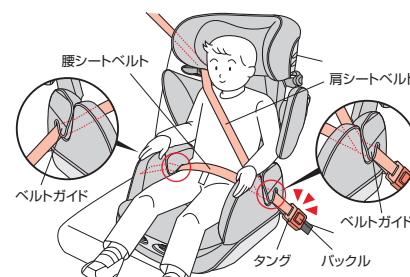
- ・頭部重心位置（耳の上端部）がチャイルドシートの背もたれの上端部より下になること。



4

ヘッドサポートを内側に倒し、（P17 参照）車の肩シートベルトにねじれないことを確認して、背もたれの肩ベルトガイドに通します。

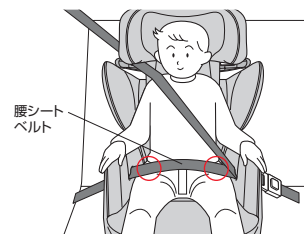
- ・お子さんの成長に合わせて肩ベルトガイドが正しい位置になるように背もたれの高さを調節してください。



5

車の腰シートベルトにねじれないことを確認して、座部の左右のベルトガイドに通し、タングをバックルに差し込みます。

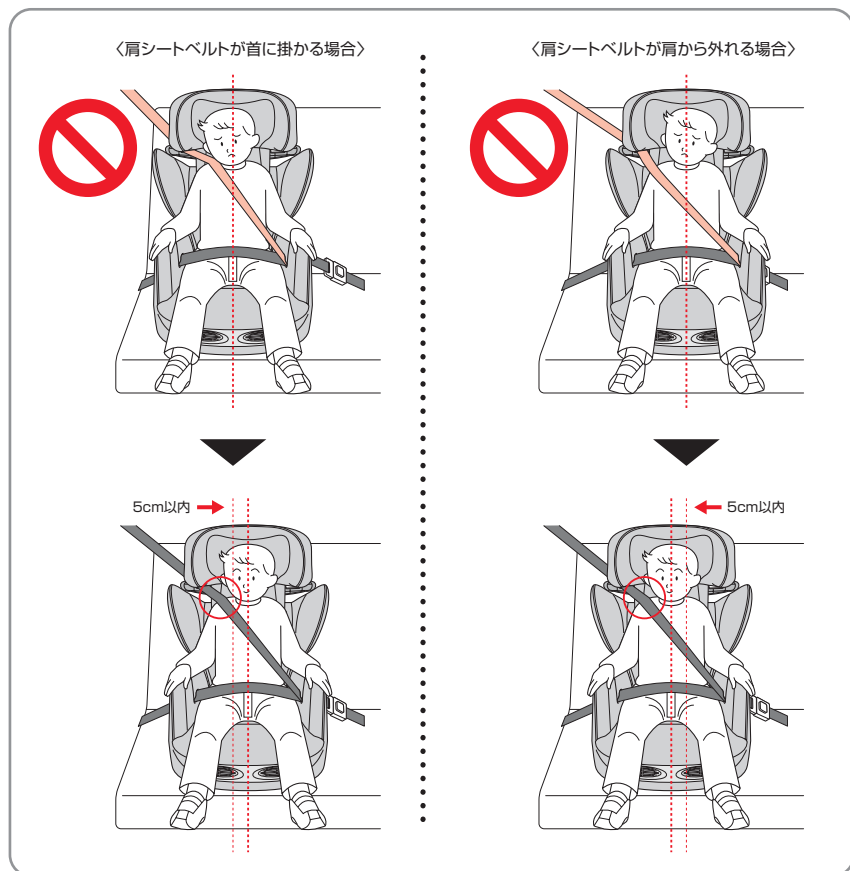
- ・肩シートベルトはバックル側のベルトガイドに通します。



6

車の腰シートベルトがお子さんの骨盤部を通るように低く下げます。

取り付け後の調節方法

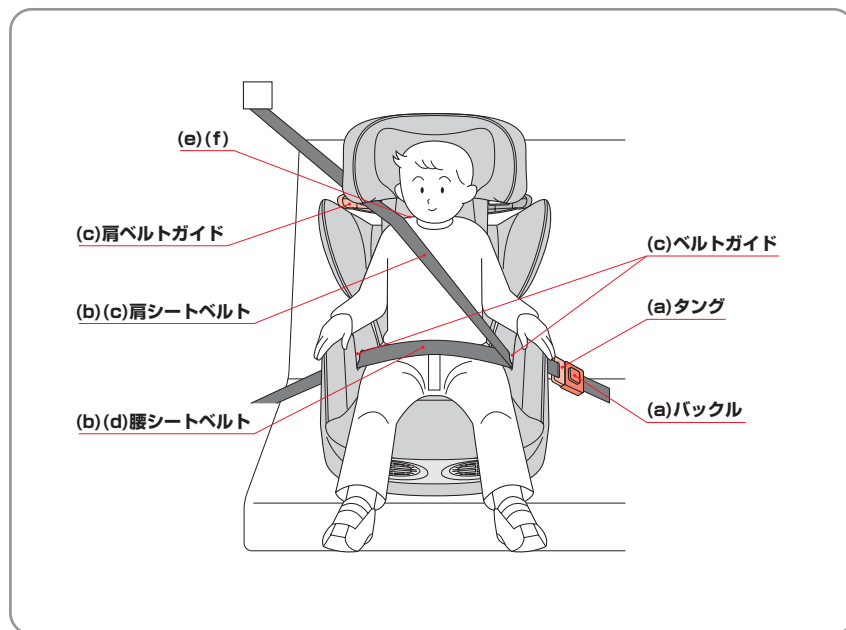


- ・肩シートベルトがお子さまの首に掛かる場合や、肩から外れる場合は、チャイルドシートを座面の中央から左右に5cm以内の範囲で移動させます。チャイルドシートの座面が傾かない範囲で調節してください。
- ・チャイルドシートを移動しても、肩シートベルトがお子さまの首に掛かったり、肩から外れる時は、この座席では使用できません。



- ・チャイルドシートが取扱説明書通りに取り付けできない座席では使用しない。
- ・車のシート形状やベルトの位置により、車のシートベルトが戻りにくい場合は、緩みのある状態で使用しない。
- ・肩シートベルトは、必ず肩ベルトガイドを通してから、お子さまの胸の前を通すこと。

取り付け後の確認



・取り付け完了後、しっかり固定されているか、次の項目を確認してください。

☑ チェック項目

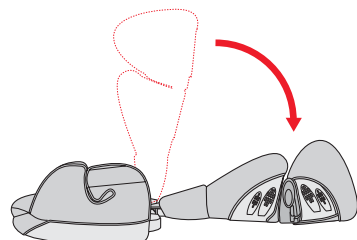
- (a)車のシートベルトのタングがバックルに差し込まれていること。
- (b)車の肩・腰シートベルトに緩み、たるみ、ねじれがないこと。
- (c)車の肩シートベルトが肩ベルトガイドを確実に通っていること。
- (d)車の腰シートベルトが骨盤部を通るように低く下げて着用していること。
- (e)車の肩シートベルトがお子さまの首や身体の弱い部分に掛かっていないこと。
- (f)車の肩シートベルトとお子さまの首の間に大人の指1～2本程度のスキ間があること。

- ・(a)～(f)を確認し、しっかり固定できていない場合は、もう一度1～6の手順で取り付けをやり直してください。
- ・1～6の手順でやり直しても、しっかり固定できない場合は、当社サービス係までご連絡ください。(P34 参照)

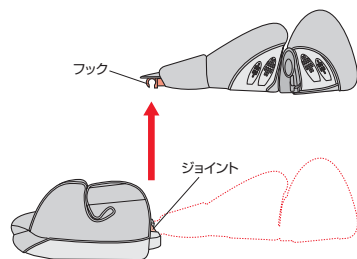
座部での使用時

体重：15kg 以上 36kg 以下（参考身長：100cm 以上 145cm 以下）

背もたれの取り外し方



1 背もたれを水平になるまで倒します。



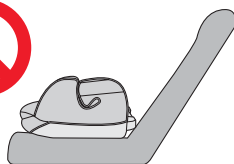
2

背もたれを上を持ち上げて取り外します。

・取り外した背もたれは大切に保管してください。

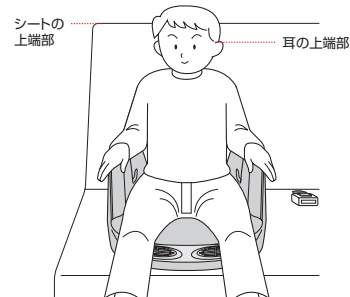
本体の取り付け方

警告



・車の背もたれを極端に倒した状態で使用しない。

衝突や急ブレーキなどにより保護機能を発揮できず危険になるおそれがあります。

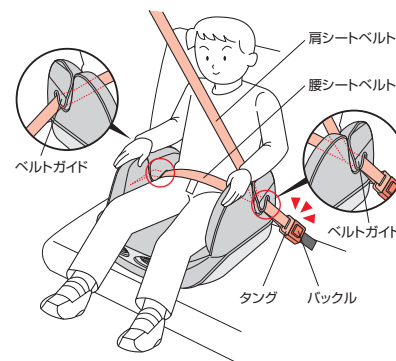


1

座部と、車の座席の背もたれのスキ間が出来るだけ小さくなるように置き、お子さまを座面に深く座させます。

注意

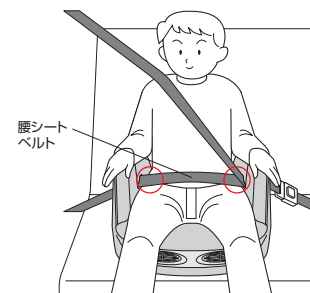
・頭部重心位置（耳の上端部）が車のシートの上端部、又はヘッドレストの上端部より下になること。



2

車の腰シートベルトにねじれないことを確認して、座部の左右のベルトガイドに通し、タングをバックルに差し込みます。

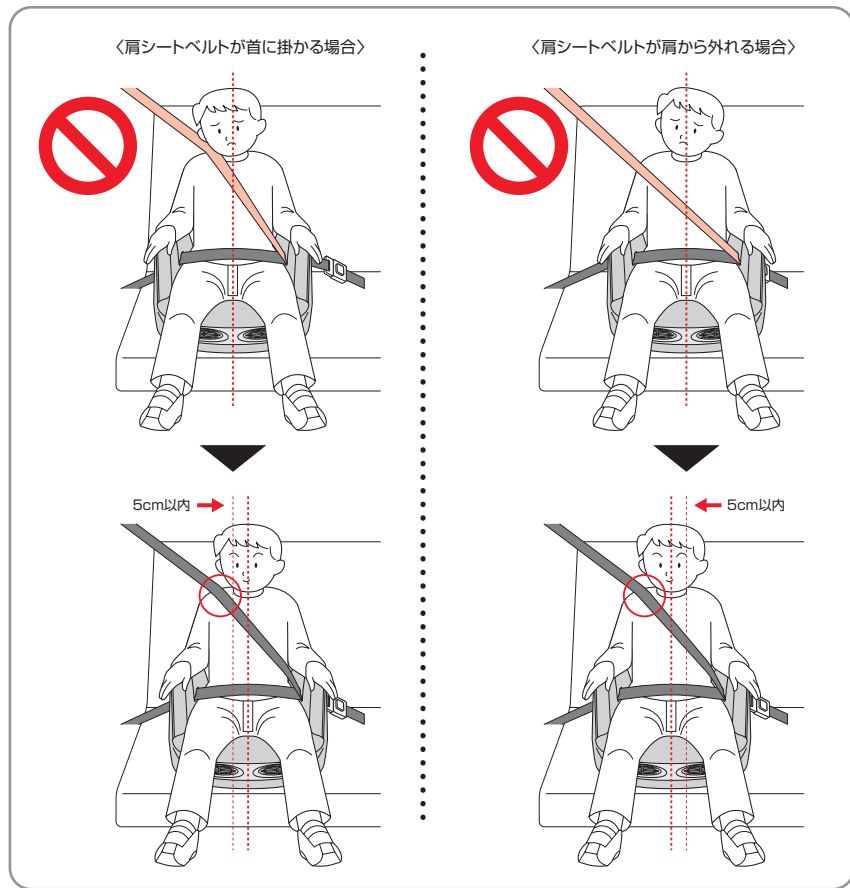
・肩シートベルトはバックル側のベルトガイドに通します。



3

車の腰シートベルトがお子さまの骨盤部を通るように低く下げます。

取り付け後の調節方法

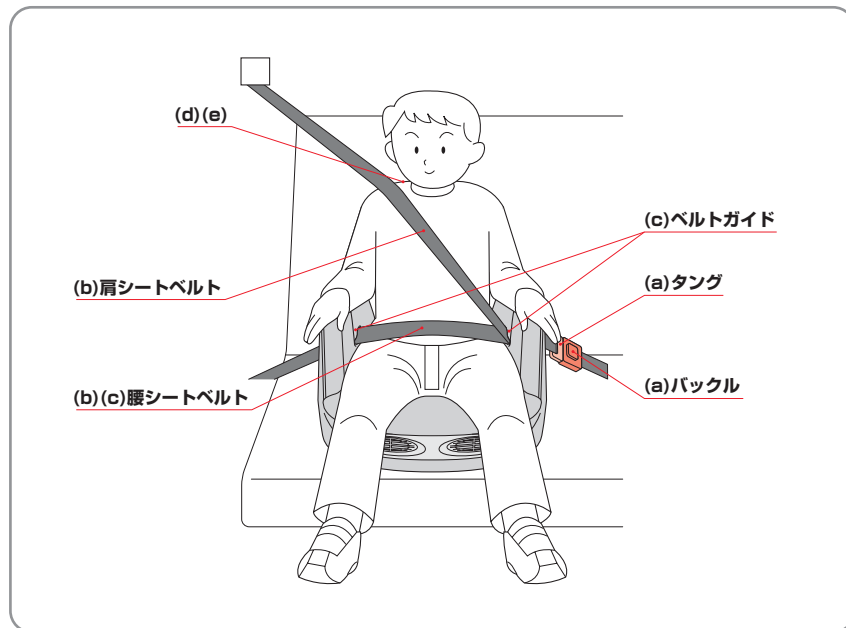


- ・肩シートベルトがお子さまの首に掛かる場合や、肩から外れる場合は、チャイルドシートを座面の中央から左右に5cm以内の範囲で移動させます。チャイルドシートの座面が傾かない範囲で調節してください。
- ・チャイルドシートを移動しても、肩シートベルトがお子さまの首に掛かったり、肩から外れる時は、この座席では使用できません。



- ・チャイルドシートが取扱説明書通りに取り付けできない座席では使用しない。
- ・車のシート形状やベルトの位置により、車のシートベルトが戻りにくい場合は、緩みのある状態で使用しない。
- ・肩シートベルトは、必ず肩ベルトガイドを通してから、お子さまの胸の前を通すこと。

取り付け後の確認



・取り付け完了後、しっかり固定されているか、次の項目を確認してください。

☑ チェック項目

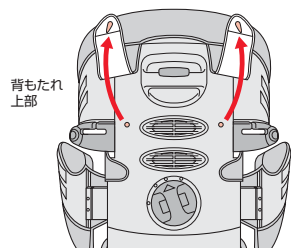
- (a) 車のシートベルトのタングがバックルに差し込まれていること。
- (b) 車の肩・腰シートベルトに緩み、たるみ、ねじれがないこと。
- (c) 車の腰シートベルトが骨盤部を通るように低く下げて着用していること。
- (d) 車の肩シートベルトがお子さまの首や身体の弱い部分に掛かっていないこと。
- (e) 車の肩シートベルトとお子さまの首の間に大人の指1～2本程度のスキ間があること。

- ・(a)～(e)を確認し、しっかり固定できていない場合は、もう一度1～3の手順で取り付けをやり直してください。
- ・1～3の手順でやり直しても、しっかり固定できない場合は、当社サービス係までご連絡ください。(P34 参照)

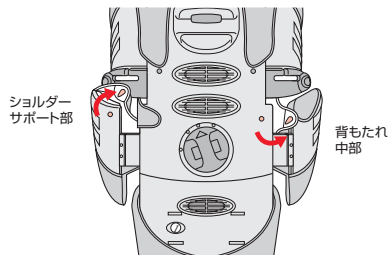
お手入れ方法

シートカバーの外し方

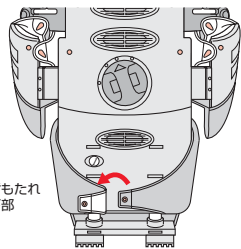
・左右のショルダーサポートを開いてから行ってください。(P18 参照)



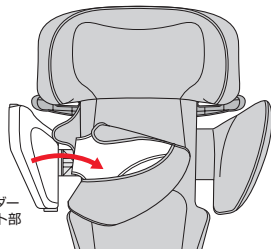
① 背もたれ上部のクリップ（左右）を外します。



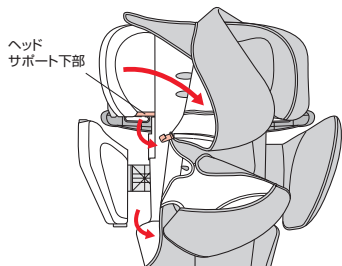
② 背もたれ中部のクリップ（左右）とショルダーサポート部のクリップ（左右）を外します。



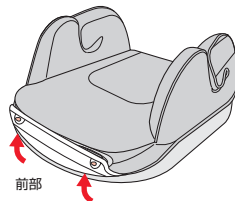
③ 背もたれ下部のフック（1 カ所）を外します。



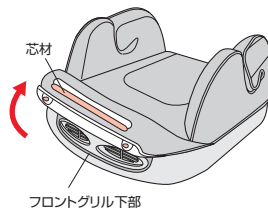
④ ショルダーサポート部のシートカバーを外します。（左右）



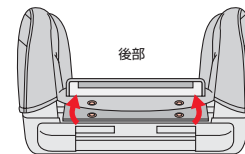
⑤ ヘッドサポート下部のフック（左右）を外し、シートカバーを取り外します。



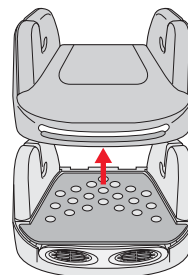
⑥ 前部のフック（2 カ所）を外します。



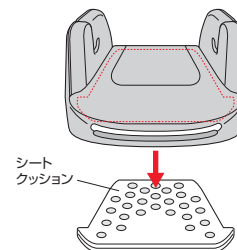
⑦ 芯材をフロントグリル下部から外します。



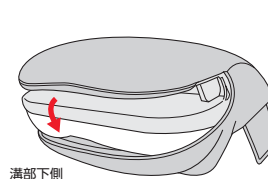
⑧ 後部のフック（2 カ所）を外します。



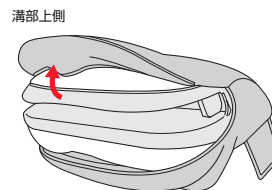
⑨ シートカバーを取り外します。



⑩ シートクッションをシートカバーから取り外します。



⑪ 溝部下側のシートカバーを外します。



⑫ 溝部上側のシートカバーを外し、抜き取ります。

・シートカバーを取り付ける時は、逆の手順で取り付けてください。

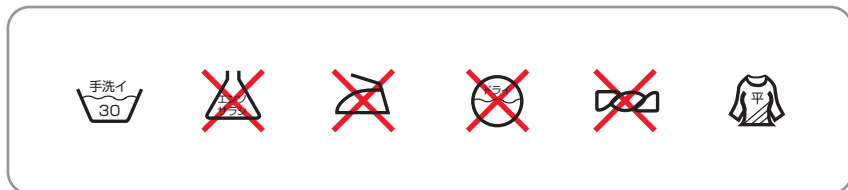
注意

・シートカバーを取り付ける時は、必ず芯材をフロントグリル下部に差し込んでください。

禁止

・シートクッションは洗浄しない。
・シートカバーやクッション材を他のものと交換したり、外した状態や破れた状態で使用しない。

シートカバーの洗濯



樹脂部分のお手入れ

〈ほこりなどを吸着した場合〉

- ・タオルなどで乾拭きしてください。

〈水溶性の汚れ（果汁、ヨダレ、オシッコなど）の場合〉

- ・40℃前後のお湯にタオルを浸し、軽く絞って拭き取ってください。

〈非水溶性の汚れ（牛乳、油脂、マヨネーズなど）の場合〉

- ・中性洗剤を溶解した40℃前後のお湯にスポンジを浸し、軽く絞って汚れた部分をスポンジで軽くこすります。その後、水又は温水にタオルを浸し、軽く絞って充分に中性洗剤を拭き取ってください。

保管する時は

- ・本体をポリ袋などに入れ、直接日光の当たらない、冷暗所に保管してください。

廃棄する時は

- ・事故により処分する場合は、本品に「事故品」と油性ペンで目立つところに記入してください。
- ・地球環境のため、不要になった場合は、お住まいの各自治体の指示にしたがい処分、廃棄してください。

保証について

保証期間とアフターサービス

・アフターサービスについて

ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号をご確認のうえお買い上げの販売店または、当社サービス係までご連絡ください。

- ・保証期間中（お買い上げ日より1年間です。）に部品の欠品、不良加工など当社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きにしたがった正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します。

ただし、ご購入日より3年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。）修理箇所の保証期間は1カ月です。）

また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。（部品の保有期間は、製造中止後3年間です。）

〈アフターサービスについての連絡先〉

アップリカ・チルドレンズプロダクツ株式会社

〈電話連絡先〉

お客様サポートセンター TEL 0120-415-814

受付時間：AM10：00～PM5：00（土、日、祝日、当社所定休日を除く）

〈製品をお送りいただく場合のみの宛先〉

〒632-0221 奈良県奈良市都祁白石町1397-1

アップリカ 奈良サービスセンター ☎ (0743) 84-2050

製品の仕様

商品サイズ	・ W：415mm × D：455mm × H：665mm
商品重量	・ 6.2 kg
材質	・ 樹脂部：ポリプロピレン
	・ シートクッション：ポリウレタン発泡、ポリエチレン発泡
	ポリスチレン発泡
	・ 表生地：ポリエステル